

■三善清行 学者官僚。正義感に溢れた経世家で、菅原道真と衝突、その左遷で昇進し、「意見十二箇条」など建言。
みよしきよゆき
円仁帰国・・・847＝ 配流先から平安京に戻ったものの低い官職だった三善宿禰氏吉の三男で、佐伯氏の娘を母に生まれる。

・・・・・・・856＝9歳：

人民摂政の実858＝11歳：

鴻臚館設置・862＝15歳：父が死去、

・・・・・・・865＝18歳：この頃、大学に入学、
応天門の変・866＝19歳：
紀伝道を修め、

清和源氏始・873＝26歳：文章生となる。受講師巨勢文雄について学び、
・・・・・・・874＝27歳：文章得業生となり、

・・・・・・・877＝30歳：越前少目、

基経太政大臣880＝33歳：播磨権少目、
・・・・・・・881＝34歳：巨勢文雄の推薦で、方略試を受けるが結果は不合格、このときの問答博士(試験官)が菅原道真で、以後ことあるごとに道真と対立。また紀長谷雄ら代々の文章博士との激しい論争でも知られる。
・・・・・・・883＝36歳：改判丁第(方略試)に合格して、文人官僚となり、
基経関白の実884＝37歳：大学少允。

・・・・・・・886＝39歳：少内記、
宇多天皇即位887＝40歳：従五位下大内記となるが、この年に阿衡の紛議がはじまると、
関白始・・・・888＝41歳：藤原佐世、紀長谷雄らと「阿衡勘問」を提出し、橘広相の説を退けて、道真と対立、

道真蔵人頭・891＝44歳：天台座主円珍に愛遇されるようになった後、
・・・・・・・892＝45歳：肥後介に左遷されて白髪となり、
・・・・・・・893＝46歳：備中介に転出、

・・・・・・・苦勞続きの現地体験をし、
・・・・・・・896＝49歳：従五位上。
宇多上皇・・・・897＝50歳：備中介の任期が満了し、帰洛。

・・・・・・・900＝53歳：刑部大輔経て、*文章博士となるや、道真に職を退くよう勸告するも、退けられるが、
菅原道真左遷901＝54歳：伊勢権介を兼任。陰陽天文に明るく、*「革命勘文」を奉り延喜改元を実現して辛酉改元の端緒を開き、道真が左遷されるや、大学頭となり、
初の莊園整理902＝55歳：正五位下。漢詩文に優れ、この頃、「円珍和尚伝」「藤原保則伝」、奇談を集めた「善家秘記」などを著す。
道真没・・・・903＝56歳：*式部少輔を兼任。これにより、大学頭・文章博士と合わせ、三職を兼任して頂点に達する。
・・・・・・・904＝57歳：従四位下に昇叙後、大学頭を辞任。
古今和歌集・905＝58歳：式部権大輔に転任し、備中権守を兼任。延喜格式の編纂担当になる。
・・・・・・・906＝59歳：備中守。

・・・・・・・910＝63歳：文章博士を辞任、

12ヶ条意見・914＝67歳：式部大輔に任じられ、朝廷の求めに応じて、備中介時代の体験をもとに「意見封事12か条」を上奏、
・・・・・・・915＝68歳：従四位上。

・・・・・・・917＝70歳：参議に昇り、宮内卿を兼ねるが
高麗建国・・・・918＝71歳：播磨権守を兼任後、
・・・・・・・919＝72歳：没した。